

使用説明書

今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。



注意

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

ご使用上の注意

1. 次の方は使用しないでください。

- ①今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

①染毛の2日前(48時間前)には毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合がありますので、毎回必ず行ってください。**【皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の方法については、同書面内の「皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順」をご覧ください。】**

②頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。

③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。

④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。

⑤染毛の前後1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

①薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。

②換気のよいところで使用してください。

③必ず添付の手袋を着用してください。

④染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬液が目に入るおそれがあります。

⑤薬液が顔、首筋につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。

⑥**薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。**目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

⑦染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。

⑧染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

①混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

②混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。

②高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順



食品や医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、まれにヘアカラーで重いアレルギー反応をおこす人がいます。また、他のアレルギーと同様に過去に何回も異常なく染毛できた方でも、体質の変化などによりかぶれるようになる場合もあります。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、染毛の2日前(48時間前)に、毎回必ず行ってください。

1. 次のものを準備します。

【当製品の箱に入っているもの】

① 1剤



② 2剤



【ご自分で用意していただくもの】

① 小皿(金属製のものを使用しないでください。)



② 綿棒(1本)



③ ティッシュペーパーまたはコットン



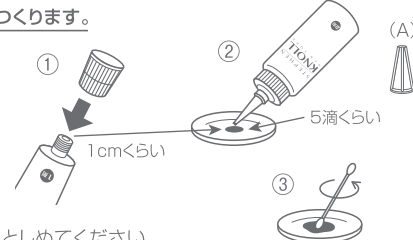
2. テスト用混合液をつくります。

テスト用混合液は、1剤と2剤を、1対1の割合で混ぜてつくります。

① 1剤のキャップをはずし、キャップの反対側の突起でチューブの口に穴をあけ、小皿に1cmくらいの量を出します。

② 2剤の保護キャップ(A)をはずし、直接ノズルから5滴くらいの量を小皿に加えます。

③ 1剤と2剤を、綿棒でよく混ぜ合わせてテスト用混合液をつくります。



※ご使用後すぐに、それぞれの容器のキャップをきちんとしめてください。

3. テスト用混合液をぬります。

テスト用混合液ができたら、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬり、自然に乾燥させます。(小皿に残ったテスト用混合液は、すぐに洗い流して捨ててください。)

※テスト用混合液をぬった部分が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。

テスト用混合液が衣服などにつくと落ちません。

※30分たっても乾かない場合は、ティッシュペーパーなどで軽くふきとってください。



4. そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください。)

テスト用混合液をぬったところは絆創膏等で覆わないでください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果がわかるには少なくとも48時間必要です。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした当日は、なるべく入浴は避けてください。やむなく入浴される場合は、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の部分の部分をぬらしたり、こすったりしないようにご注意ください。

5. テスト部位の観察はテスト用混合液塗布後30分位および48時間後の2回必ず行ってください。

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水泡、刺激などの皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。

途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト用混合液を洗い落として染毛しないでください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、万一異常が生じた場合は医師の診療を受けてください。また、肌の状態や商品については当社のお客様相談窓口にご相談ください。

6. 48時間経過後、異常がなければ直ちに染毛してください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした部分は、テスト終了後や入浴時によく洗ってください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした部分は、茶色などに着色しますが、通常の入浴によって数日で落ちていきます。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

髪を染める前の準備 (シャンプーは染める前日までにすませてください。)

必要なもの

【当製品の箱に入っているもの】

● 1剤



● 2剤



● アフターカラー
シャンプー・トリートメント



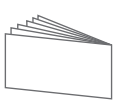
● 手袋



● ケープ

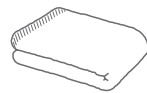


● 使用説明書



【ご自分で用意していただくもの】

● タオル
(汚れてもよいもの)



● ティッシュペーパー
またはコットン



● 新聞紙



● 目のあらい
プラスチック製のクシ



● 水をはじく
油性のクリーム
(マッサージュクリームなど)



● プラスチック製の
ヘアクリップ



● 時計



● 鏡



髪のお手入れ

◇シャンプーは、髪を染める前日までにすませてください。髪がとくに汚れている場合や、整髪料を多く使用しているとき、一時着色料(カラスブレーなど)や金属粉などが髪についているときは、頭皮を傷つけないように注意し、充分に洗い流してください。

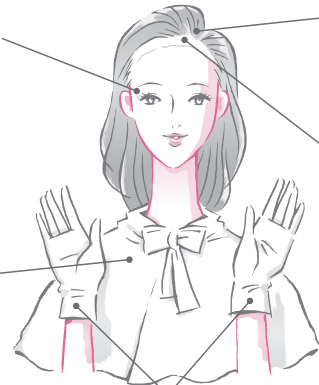
◇やむなく当日シャンプーをする場合は、髪をよく乾かしてください。(髪がぬれていると混合液が目に入ったり、染毛効果が弱まる場合があります。)

身じたく

汚れてもさしつかえのない前開きの衣服に着替え、衣類をケープまたはタオルでおおいます。また、床などが汚れないように新聞紙を敷いてください。(混合液がつくと落ちませんので、ご注意ください。もしついたときは、直ちに水でぬらしたティッシュペーパーなどでふきとってください。)

①メガネ・コンタクトレンズ・イヤリング・ピアス・ネックレス・指輪・ヘアピンなどは、はずしてください。(染毛中は、金属製のクシやヘアクリップなどは使わないでください。)

②ケープをかけます。



③頭皮を傷つけないように髪をとかし、髪を分けやすくしておきます。(髪を分けてヘアクリップでとめておくとうまくきれいにぬることができます。)

④肌を保護し、混合液がついても落ちやすくするために、耳のうしろや髪のはえざわ(ひたい・えりあしなど)に油性のクリームをつけます。
※クリームが髪につくと染毛効果が弱まりますので、ご注意ください。

⑤手袋をはめます。

その他のご注意

◇幼児には使用しないでください。◇本品は1剤と2剤の全量を混ぜ合わせてご使用ください。小分けして使用しないでください。◇薬液が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。◇次のような場合は、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。※髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、水泳、雨にぬれたとき、洗髪後など。)※育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髮用品を多量に使用したとき。◇公衆浴場などでのご使用は、汚れなどで周囲の方の迷惑にもなりますので、ご遠慮ください。◇染毛前の髪色、明るさ、白髪の量、髪質、髪の傷み具合、染毛時の室温、放置時間などによって、仕上がりの色調が変わることがあります。◇ヘアマニキュア、ヘアカラーで暗く染めた髪を明るくするのは困難です。また、ヘアマニキュアやヘアカラーなどで染めて、色味が残っている状態では、仕上がりの色調が変わることがあります。

裏面も必ずお読みください。

ヘアカラー 使用手順

髪を染める前のご注意

◇**毎回必ず**表面に記載した手順に沿って**皮膚アレルギー試験(パッチテスト)**を行ってください。

◇「髪を染める前の準備」をよくお読みになってから、お使いください。

◇寒いところでは染まりにくく1剤と2剤が混ざりにくいので、室温が18℃以上の場所でお使いください。また、1剤や2剤が冷えているときは、暖かい部屋に1時間くらい置き、室温に戻してからお使いください。

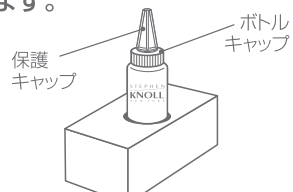
◇乾いた髪に使用し、入浴中の染毛は避けてください。

ご使用前に、表面を必ずお読みください。★1箱で、セミロングくらいの長さまで染めることができます。

1 染毛する直前に混合液をつくります。(混合液の色は、仕上がりの色とは異なります。)

1

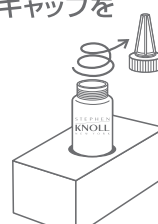
箱の裏面のミシン目にそって穴をあけ、2剤の容器を固定します。



保護キャップ
ボトルキャップ

2

2剤の保護キャップをつけたまま、ボトルキャップをはずします。



3

2剤の容器に1剤を全量加え、はずしたキャップをしっかりとしめ直します。



◇アフターカラーシャンプー・トリートメントは入れないでください。

4

容器を上下に30～40回ほど強めに早く振り、液をしっかりと混ぜ合わせます。



◇1剤や2剤の温度、また混ぜ方によって混合液の色が均一に見えない場合がありますが、仕上がりに影響はありません。

5

直ちに保護キャップをはずして、使用してください。



◇混合後、40分以上たつと染毛効果が弱くなりますので、直ちに染毛してください。

◇混合後、保護キャップをつけたまま密栓して放置すると、混合液から発生するガスの圧力で液があふれ出たり、容器が破裂するおそれがあり危険です。

◇混合液と仕上がりの色は異なります。徐々に紫色や茶褐色に変わっても、仕上がりの色調に影響はありません。

◇まれに、1剤のクリームの色が部分的に変化している場合がありますが、染め上がりに影響はありません。そのままお使いください。

◇手・指・爪の染まりを防ぐため、必ず付属の手袋をお使いください。

2 乾いた髪に混合液をつけます。(目に入らないよう、特にご注意ください。混合液が頭皮になるべくつかないようにご注意ください。)

髪全体を染める方法

15分を目安におこなってください。

◇混合液が肌についたときは、水でぬらしたティッシュペーパーなどですぐにふきとるか、洗い流してください。落ちにくい場合は、洗顔石けんなどでやさしく洗い流してください。目に入らないよう充分にご注意ください。

放置時間 25分

1 髪の前半分につけます。

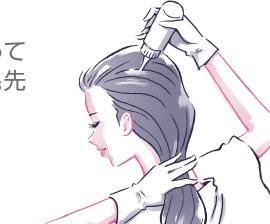
○ノズルの先で髪を分けながら、はえざわ・分け目・前髪など、白髪の目立つ部分から少量ずつつけてください。

①髪分け目の根もとからつけ、指でなじませるように毛先までよくのばします。

②2～3cmはなして次の分け目をつくりながら、①を繰り返します。

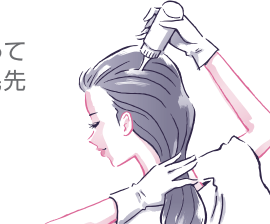
◇頭皮にすり込まないようにしてください。

ワンポイントアドバイス
○はえざわは、指先に混合液を少量ずつとりながら、ていねいにつけましょう。



2 髪の後ろ半分につけます。

○ノズルの先で髪を分けながら、頭頂部からえりあしに向かってつけていきます。根もとからつけ、指でなじませるように毛先までよくのばします。

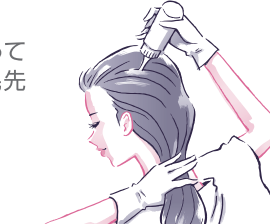


3 髪全体になじませます。

○指かお手もちのクシでやさしくとかし、髪全体にムラなくのばします。

◇クシで頭皮や髪を傷めないようにしてください。

◇目の細かいクシは、髪につけた混合液をとってしまうのでお使いにならないでください。



4 25分くらい放置します。

○太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、放置時間を5～10分長くしてください。

○細くてやわらかい髪の方、傷んだ髪の方は、放置時間を5分くらい短くしてください。

◇実際の染め上がりの色は、染毛前の髪色、髪質などによって異なります。白髪の量が多めの方はパッケージの写真より明るめに、少なめの方は暗めに仕上がります。

◇残った混合液は再使用できません。すぐに洗い流して捨ててください。

新しくのびた部分を染める方法(リタッチ)

15分を目安におこなってください。

◇傷んだ毛先は、暗く染まる場合がありますので、最初につけないでください。

◇頭皮にすり込まないようにしてください。

◇混合液が肌についたときは、水でぬらしたティッシュペーパーなどですぐにふきとるか、洗い流してください。落ちにくい場合は、洗顔石けんなどでやさしく洗い流してください。目に入らないよう充分にご注意ください。

放置時間 15分

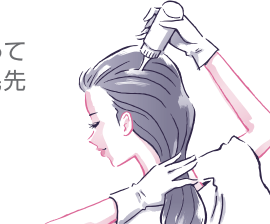
1 新しくのびた根もとの部分にだけ混合液をつけ、指でなじませます。

○ノズルの先で髪を分けながら、はえざわ・分け目・前髪など、白髪の目立つ部分から少量ずつつけてください。

◇傷んだ毛先は、暗く染まる場合がありますので、最初につけないでください。

◇頭皮にすり込まないようにしてください。

◇混合液が肌についたときは、水でぬらしたティッシュペーパーなどですぐにふきとるか、洗い流してください。落ちにくい場合は、洗顔石けんなどでやさしく洗い流してください。目に入らないよう充分にご注意ください。

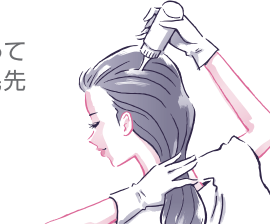


2 15分くらい放置します。

3 残りの混合液を根もと以外の髪につけ、指かお手持ちのクシで髪全体にムラなくのばします。

◇クシで頭皮や髪を傷めないようにしてください。

◇目の細かいクシは、髪につけた混合液をとってしまうのでお使いにならないでください。



4 髪全体が均一な色になるまで、5分くらい放置します。

◇左の「髪全体を染める方法」4のご注意を参照ください。

3 髪をよくすすぎ、付属のアフターカラーシャンプー・トリートメントで仕上げて、よく乾かします。

付属のアフターカラーシャンプー・トリートメントは、染めたての美しい髪色をキープし、指どおりのよい髪にみちびきます。必ずお使いください。

1 手袋をはめたまま、ヘアカラーの色が出なくなるまで、ぬるま湯でよくすすぎます。

◇すすぎ液が目に入らないよう、目をしっかり閉じてすすいでください。



2 アフターカラーシャンプーでていねいに洗います。(2度洗いをおすすめします。)

3 シャンプー後軽く水気をきり、アフターカラートリートメントを髪になじませてからすすぎます。(2～3分おいてからすすぐとより効果的です。)

4 汚れてもさしつかえないタオルで水気をふきとり、髪をよく乾かしてください。

◇髪は充分にすすぎ、よく乾かしてください。不十分な場合、衣類・帽子・枕カバーなどに色移りすることがあります。

ご注意

◇ヘアカラー(ヘアマニキュアは除く)・ブリーチを使用する場合や、パーマをおかけになる場合は、1週間以上間隔をあけてください。